



# コミュニケーションを大切に 水道を支える部品を日本中へ

<基本情報> ●設立/1970年4月 ●所在地/霧島市国分敷根120 ●従業員数/約170人(霧島工場・上野原テクノパーク工場合計)  
●お問合せ窓口/TEL:0995-45-1523 ●HP/ <https://ai120nbo5.smartrelease.jp>



## 九州タブチ

ここがポイント!

- 子育てサポート企業として高い基準を満たした企業が認定される「プラチナくるみん認定」を取得(霧島市で初)



### Interview

株式会社九州タブチ 総務部長  
すまよし こういちろう  
**末吉 幸一郎 さん**  
へインタビュー



大小様々な種類の水道部品を製造

## 業務内容は?

水道関係の部品で、例えば地下の水道管を繋ぐためのジョイント、水道メーターの横にある止水栓などを作っています。これらは市町村の水道局、いわゆる公共事業に使われるもので、これが約半分です。残りの半分は地面から上、一戸建てやマンション、ビルなどの建物にはトイレ、お風呂、キッチンなどに水を運ぶためのパイプがありますが、それらを繋ぐジョイントなどを作っています。通常作っているもので2800~3000品種くらい、その中の定番のもので1000品種強くらいになります。



従業員の働きやすい環境づくりにも注力している

## 霧島市に工場を作られた理由は?

大阪の親会社のタブチが、鹿児島を含め全国各地から生産拠点を探る中で、当時の社長が海沿いの桜島が見える風景を気に入ってこちらを選んだと聞いています。工場がこちらにできたのは1970年のことですから、ちょうど鴨池から溝辺に空港が移る頃で、物

流や人の移動に便利なことも見据えていたと思います。

## 新製品開発はどのくらい行っていますか?

公共事業の商品というのは、市町村の承認したものですので実はあまりリニューアルはありません。住宅用の商品は、分かりやすいものと言えばお風呂の裏で使われるものはハウスメーカーさんの作られるお風呂に合わせる必要がありますので、住宅の作りが変わると求められるものが変わります。例えば保温性を高めるパイプが使われるようになると、それに合わせたジョイントが必要になります。あとは建築業も人手不足だとお聞きしていますので、省施工性(=工事が簡単にできること)が求められることもあります。

## 社内のコミュニケーションはどのように?

会社行事を月に1~2回行っています。社員のご家族にも参加してもらい、仕事以外のところでもお互いを知ることに繋がっています。お互いのことをより深く知り、互いの働き方を考えるきっかけに繋がりたいと思い、行事を開催しています。拠点が分かれていると顔を合わせる機会も限られるので、行事を活用してコミュニケーションを取れるようにしています。

## 鹿児島(始良・伊佐地域)で働く魅力は?

地元で家族が近くにいる安心感がある点や、都会に比べると生活コストが比較的抑えら

れるところなどでしょうか。また、近所付き合いも含めて人との繋がりが強いところもそうですね。会社でも社内のコミュニケーション、団結力は大切にしています。

## 求める人材像は?

コミュニケーション能力の高い人・楽しみながら課題解決に取り組んでくれる人です。自分の意見をしっかり伝えられるだけではなく、相手の意見をしっかり聞ける。両方が必要だと思います。

## 高校生のみさんへメッセージをお願いします。

大きく3つあります。まずは、自分自身を知り、自分が何に興味があってどんなことがやりたいのか、よく考えてみる。2つめは、いろんな会社を知ること。できれば資料だけではなく、現地へ行きその会社の雰囲気を知ることが大事だと思います。3つめは、自分で決めること。人から言われて決めた、というのではなかなかやる気も出ないので、最後は自分で決めるという姿勢を持って将来を選んでほしいと思います。



地下や建物の裏で活躍する九州タブチ製品



# 地域の魅力を伝えながら インターネット時代を支える

<基本情報> ●設立/1997年 ●所在地/霧島市隼人町真孝251番地 ●従業員数/37人  
●お問合せ窓口/TEL:0995-43-0113 ●HP/ <https://www.mct.jp>



## 南九州ケーブル テレビネット

ここがポイント!

- 「ケーブルテレビ」の会社から時代に合わせてインターネット事業へ、番組を通じた地域の情報発信を行いつつ、ネット時代に合わせたサービス展開を行っている。



### Interview

代表取締役 **山口 俊樹 さん** 取締役 **山口 慶子 さん**  
管理部長 **竹原 昌美 さん** 放送制作部長 **岩元 明子 さん**  
へインタビュー

## 業務内容は?

(山口俊)霧島市と始良市でインターネット、ケーブルテレビのサービスを提供しています。社内の業務は技術部、管理部、放送制作部、営業部に分かれています。

## 番組制作はどのように?

(岩元)放送制作部7人で、始良市と霧島市を対象に取材、編集の業務を行っています。現在、放送制作部には、入ったばかりの若手スタッフもあり、皆と一緒に地元で密着した番組を企画し、ケーブルテレビの「コミュニティch」で放送しています。



社内のコミュニケーションを回り働きやすい環境に

## 「働きやすい環境」は意識されていますか?

(山口俊)子育て中の方は時短勤務を選べるなど、その方の人生に合わせて働いてもらえるように働きやすさは非常に意識しています。



ケーブルテレビの「コミュニティch」で地域情報を発信

(岩元)定時で帰れることがほとんどなのでプライベートの時間を持てることもよいですし、みなさんお互いにサポートしあえる環境もありがたいです。

## 仕事のやりがいを感じる点は?

(竹原)休みが取りやすいところや、周りがフォローしてくれることについて、同じ部署の同僚から、この会社で働いてよかった、という声がありました。こういう声を聞けると嬉しいです。(岩元)視聴者さんからの声が一番ですね。これ見たよ、とか、自分が映っていて嬉しかった、などの声を頂くことややりがいを感じます。その方の人生の一部分に関われたと思えると嬉しいですね。

## 鹿児島(始良・伊佐地域)で働く魅力は?

(山口俊)関東出身なのですが、とても住みやすいです。海があり山もあり、食べ物が美味しく温泉がある。空港に近い、渋滞がない、満員電車がいない、なのにいろんなお店がある。都内に暮らしていたときより利便性が高いのでは、と思います。仕事が終わった後に温泉に入って地場の野菜を買ってお料理して、という暮らしは都会では経験できないのではないのでしょうか。(岩元)以前はここで11年働いていたのですが、いったん退職して福岡で働き、昨年戻ってきました。県外も経験して比較してみると、鹿児島

は「人が良い」と思います。話しやすくて温かさを感じますし、鹿児島弁を聞くと安心感があります。取材でも「人の良さ」はよく感じています。

## 高校生のみさんへメッセージをお願いします。

(山口俊)自分のやってみたくと思ったこととどんどんチャレンジをして、様々な経験をしてください。どんなことも必ず仕事にも繋がるはずなので、興味のあること、好きなことに取り組んでほしいと思います。(竹原)働き始めて、最初は分からないことばかりだと思いますが、まずは素直に聞いて吸収して、前向きに取り組む気持ちを持ってほしいです。

(岩元)分からないことも働きながら周りがサポートしてくれるので、まずは明るい挨拶ができればOKだと思います!(山口俊)若いうちに、海外に行ってみてほしいです。国内なら北海道へ。ぜんぜん環境の違うところを経験しておくとうよいと思います。



霧島市の本社社屋